

2011年8月

1. 誌上発表 (原著論文)

(生薬部)

- 徳本廣子, 下村裕子, 飯田修*, 袴塚高志, 合田幸広
*基盤研薬用植物資源研究センター種子島研究部
鏡検による粉末センナ茎と粉末センナ葉軸の鑑別
生薬学雑誌, **65**(2), 114-128 (2011)
- 堂井美里^{*1}, 安食菜穂子^{*1}, 伊奈小百合^{*1}, 吉光見稚代^{*1}, 川原信夫^{*2}, 合田幸広, 垣内信子^{*3}, 御影雅幸
^{*1}金沢大学院自然科学, ^{*2}基盤研薬用植物資源研究センター, ^{*3}九州保健福祉大薬
漢方薬抽出自動包装機を用いた湯液品質の経時変化(1) - 大黄甘草湯について-
生薬学雑誌, **65**(2), 103-107 (2011)

(生活衛生化学部)

- Uchino, T. Takezawa, T*. Ikarashi, Y. Nishimura, T.
*農業生物資源研究所
Development of an alternative test for skin sensitization using a three-dimensional human skin model consisting of dendritic cells, keratinocytes and fibroblasts (樹状細胞、皮膚角化細胞、線維芽細胞を含む3次元培養ヒト皮膚モデルを用いる皮膚感作性試験代替法)
AATEX., **16**, 1-8 (2011)

(食品部)

- 齊藤静夏, 根本 了, 松田りえ子
LC-MS/MSによる農産物中のピンドン分析法
食品衛生学雑誌, **52** (4), 237-243, 2011
- 齊藤静夏, 坂井隆敏, 根本 了, 松田りえ子
LC-MS/MSによる畜水産物およびはちみつ中の4-ヒドロキシクマリン系殺鼠剤分析法
食品衛生学雑誌, **52** (4), 244-250, 2011

(食品添加物部)

- 多田敦子, 石附京子, 小山朗夫^{*1}, 深井俊夫^{*2}, 秋山卓美, 山崎 壮, 河村葉子
^{*1}独立行政法人 農業生物資源研究所, ^{*2}横浜薬科大学
既存添加物クワ抽出物の成分組成に基づく基原植物の検討
日本食品衛生学雑誌, **52**(4), 258-264 (2011)
- Takabatake, R.^{*1}, Koiwa, T.^{*1,2}, Kasahara, M.^{*2}, Takashima, K.^{*1}, Futo, S.^{*3}, Minegishi, Y.^{*4}, Akiyama, H., Teshima, R., Oguchi, T.^{*1}, Mano, J.^{*1}, Furui, S.^{*1}, Kitta, K.^{*1}
^{*1}(独)農研機構 食品総合研究所, ^{*2}(独)農林水産消費安全技術センター, ^{*3}(株) ファスマック, ^{*4}(株) ニッポンジーン
Interlaboratory validation of quantitative duplex real-time PCR method for screening analysis of genetically modified maize. (遺伝子組換えトウモロコシスクリーニング検査のための二重リアルタイムPCR定量法の妥当性確認)
Food Hyg. Saf. Sci., **52**, 265-269 (2011)
- Mano, J.^{*1}, Yanaka, Y.^{*1}, Ikezu, Y.^{*1}, Onishi, M.^{*2}, Futo, S.^{*2}, Minegishi, Y.^{*3}, Ninomiya, K.^{*4}, Yotsuyanagi, Y.^{*4}, Spiegelhalter, F.^{*5}, Akiyama, H., Teshima, R., Hino, A.^{*1}, Naito

S.*1, Koiwa, T.*1, Takabatake, R.*1, Furui, S.*1, Kitta, K.*1
 *1(独)農研機構 食品総合研究所,*2 (株) ファスマック,*3(株) ニッポンジーン,*4 (株) 島津製作所,*5 Genescan,Inc.

Practicable group testing method to evaluate weight/weight GMO content in maize grains. (遺伝子組換えトウモロコシ混入率評価手法グループテスト法)
J. Agric. Food. Chem., **59**, 6856-6863 (2011)

(食品衛生管理部)

- Kumagai, Y.*, Noda, M., Kasuga, F.
 *東京大学

New Approaches for Tackling Foodborne Infections (食品媒介感染の取り組みに対する新たな試み)
J. Disaster, Res. **6**(4), 451-458 (2011)

(衛生微生物部)

- Wang, L.*, Wakushima, M.*, Kamata, Y., Nishikawa, Y.*
 *Graduate School of Human Life Science, Osaka City University
Exhaustive isolation of diarrhoeagenic *Escherichia coli* by a colony hybridization method using hydrophobic grid-membrane filters in combination with multiplex real-time PCR(マルチプレックス PCR 法と疎水性グリッドメンブレンフィルター装着コロニーハイブリダイゼーション法の同時利用による下痢原性大腸菌の一斉分離)
Lett. Appl. Microbio., **53**(3) 264-70, 2011

- Sakuma, H., Kamata, Y., Sugita-Konishi, Y., Kawakami, H.*
 *Kyoritsu Women's University

Method for Determination of Aflatoxin M₁ in Cheese and Butter by HPCL Using Immunoaffinity Column (イムノアフィニティーカラムを用いての HPLC によるチーズおよびバター中のアフラトキシン M1 定量法)
Food Hyg. Saf. Sci., **52**(4), 220-25, 2011

(代謝生化学部)

- Satoh, R., Nakamura, R., Teshima, R.
Proteomic identification of IgE-binding proteins in buckwheat (イムノプロテオミクス手法を用いたソバ IgE 結合タンパク質の網羅的検出)
 日本食品化学学会誌, **18**(2), 103-109 (2011)

(毒性部)

- Matsukura, H.*1, Aisaki, K., Igarashi, K., Matsushima, Y., Kanno, J., Muramatsu, M.*1, Sudo, K.*1, Sato, N.*1
 *1 東京医科歯科大学

Genistein promotes DNA demethylation of the steroidogenic factor 1 (SF-1) promoter in endometrial stromal cells. (ゲニステインは子宮内膜間質細胞のステロイド産生因子 1(SF-1)の DNA 脱メチル化を促進する)
Biochem. Biophys. Res. Commun., **412**, 366-372 (2011)

(変異遺伝部)

- Honma, M.
Cytotoxicity measurement in *in vitro* chromosome aberration test and micronucleus test (インビトロ染色体異常試験、小核試験における細胞毒性の評価)
Mutat. Res., **724**, 86-87 (2011)

- Yamamoto, A., Sakamoto, Y., Masumura, K., Honma, M., Nohmi, T.

Involvement of mismatch repair proteins in adaptive

responses induced by N-methyl-N'-nitro-N-nitrosoguanidine against γ -induced genotoxicity in human cells (ヒト細胞において MNNG により誘発される適応応答でのミスマッチ修復タンパクの、ガンマ線で誘導される遺伝毒性に対する関わり)

Mutat. Res., **713**,56-63 (2011)

(総合評価室)

- Hirose, A., Yamazaki, T.^{*}, Sakamoto, T.^{*}, Sunaga, K.^{*}, Tsuda, T.^{*}, Mitsumoto, A.^{**}, Kudo, N.^{*}, Kawashima, Y.^{*}
* 城西大学, ** 城西国際大学

Clofibric Acid Increases the Formation of Oleic Acid in Endoplasmic Reticulum of the Liver of Rats (ラット肝臓小胞体におけるオレイン酸生合成のクロフィブリン酸による増強効果)

J. Pharm. Sci., **116** (4), 362-372, 2011

2. 誌上発表 (総説・解説等)

(安全情報部)

- 窪田邦宏, 天沼 宏, 森川 馨
米国で長期間にわたり患者が発生したサルモネラ食中毒アウトブレイク
食品衛生研究, **61**(8), 7-15 (2011)

(医薬安全科学部)

- Sai, K., Saito, Y.
Ethnic differences in the metabolism, toxicology and efficacy of three anticancer drugs. (3種の抗がん剤の代謝、毒性および効果における人種差)
Expert. Opin. Drug Metab. Toxicol., **7**: 967-988 (2011).

(薬理部)

- 佐藤 薫
グリブ型グルタミン酸トランスポーター
日薬理誌 **138**, 127 (2011)

(変異遺伝部)

- 本間 正充
医薬品における遺伝毒性不純物の管理と安全性評価
(財) 安評センター研究所報 **21**, 1-41, 2011

3. 単行本

(生物薬品部)

- 川崎ナナ
医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団編 “日本薬局方技術情報 2011” (JPTI 2011)
株式会社 じほう, 東京 (2011)
pp.307-311, pp.728-730, pp.731-734
一般試験法等に関する技術情報の項で「ペプチド及びたん白質の質量分析」を、医薬品各条に関する技術情報の項で「ヘパリンカルシウム」と「ヘパリンナトリウム」について本書の一部を著述した。
- 川崎ナナ, 橋井則貴, 石井明子, 新見伸吾
バイオ医薬品 CMC 申請のための品質評価と申請書作成実学集
技術情報協会, 東京 (2011), pp.3-18, pp19-35

「第1章 申請に必要な品質評価試験項目設定でのポイント」の「第1節 申請をふまえた構造・特性解析での押さえ所」と「第2節 申請で求められる不純物分析のポイント」について著述した。

(生薬部)

- 合田幸広他
医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団編 “**日本薬局方技術情報 2011**”
じほう, 東京, 2011, p9-10, p28, p59, p190-195, p338-341, p800-p937. カラーページ p1-10
第16改正日本薬局方一般試験法, 各条等に関する技術的な参考情報を記載した (上記のページは生薬関連のものページ数)

(衛生微生物部)

- 小西良子
第4章. 真菌学 I. 真菌学総論
見上 彪 監修 関崎 勉、高井伸二、堀本泰介、望月雅美 (編集) “**獣医微生物学第3版**” 文永堂出版株式会社, 東京, 2011, p. 289-297
I. 真菌学総論について著述した。

(薬理部)

- 小島 肇
最新動物実験代替法の技法ノウハウ
技術情報協会, 東京 (2011), pp. 3-9, 19-29, 33-43, 71-87
動物実験代替法と動物実験の棲み分け. 動物実験代替法への欧州・日本の対応, 皮膚腐食性試験の実験手技, 眼刺激性試験代替法の実験手技についてまとめた。

(変異遺伝部)

- 本間正充
第9章 ほ乳類培養細胞を用いた遺伝毒性試験とその実験手法
小島 肇監修 “最新動物実験代替法の技法ノウハウ”、(株)技術情報協会、東京、2011年、192-220
インビトロの染色体異常試験、小核試験、遺伝子突然変異試験の手技を詳しく解説した。最新の国際ガイドラインに対応した試験法の改良点を解説した。

4. 学会・講演等

(薬品部)

- 奥田晴宏
ICH Q11 ガイドラインの目的及び平成22年度厚生労働科学研究の成果
一般財団法人 医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団 “**ICH Q11ガイドライン説明会**” 2011年8月5日、東京都江戸川区
- 奥田晴宏、松村清利*
*大塚化学
出発物質及び生物起源材料の選択
一般財団法人 医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団 “**ICH Q11 ガイドライン説明会**” 2011年8月5日、東京都江戸川区
- 坂本知昭
コーティングにおける品質について ー品質評価技術の導

入研究一

製剤機械技術研究会 第10期固形製剤教育研修会
株式会社パウレック大会議室 (2011.8) (兵庫県伊丹市)

(生物薬品部)

- 日向須美子*, 白石真純*, 日向昌司, 合田幸広, 花輪壽彦*

*北里大学 東洋医学総合研究所

麻黄湯と構成生薬の麻黄による HGF-c-Met シグナルの阻害

第28回和漢医薬学会学術大会 (2011.8) (富山)

- 白石真純*, 日向須美子*, 日向昌司, 花輪壽彦*

*北里大学 東洋医学総合研究所

抗癌剤耐性ヒト肝臓癌細胞を用いた漢方薬のMDR-1に対する効果の解析

第28回和漢医薬学会学術大会 (2011.8) (富山)

(生薬部)

- 鄭美和, 柴原直利^{*1}, 花輪壽彦^{*2}, 中田敬吾^{*3}, 雨谷栄^{*4}, 糸数七重^{*4}, 伏見環^{*5}, 一般用漢方製剤委員会^{*6}, 袴塚高志, 合田幸広

^{*1}富山大和漢研漢方診断学分野, ^{*2}北里大東医研, ^{*3}聖光園細野診療所, ^{*4}日本薬大, ^{*5}細菌製剤協会, ^{*6}日本漢方生薬製剤協会

一般用漢方製剤「防風通聖散」の使用実態調査 —漢方処方

の安全性と有効性に関する研究1—

第28回和漢医薬学会学術大会 (2011.8) (富山)

- 堀井周文*, 小此木明*, 大窪敏樹*, 鎌倉浩之, 合田幸広

*クラシエ製薬

葛根湯エキス製剤及び湯剤の同等性に関する研究

第28回和漢医薬学会学術大会 (2011.8) (富山)

- 日向須美子^{*1}, 白石真純^{*2}, 日向昌司^{*3}, 合田幸広, 花輪壽彦^{*1,2}

*¹北里大東医研臨床研究部, ^{*2}北里大学大学院, ^{*3}国立衛研生物薬品

麻黄湯と構成生薬の麻黄による HGF-c-Met シグナルの阻害

第28回和漢医薬学会学術大会 (2011.8) (富山)

- 丸山卓郎

生薬の品質評価のための新たな手法の確立

第28回和漢医薬学会学術大会

富山, 2011年8月

- 丸山卓郎

日本薬局方の改正—15局から16局へ

日本生薬学会: 第6回生薬若手懇話会

崇城大学市民ホール (熊本), 2011年8月

- 鄭美和

和漢薬基礎研究の最前線—更年期婦人病治療薬としての当帰芍薬散—

第28回和漢医薬学会学術大会

富山, 2011年8月

(遺伝子細胞医薬部)

- 佐藤陽治

核酸医薬品の品質・安全性の確保

第3回 日本RNAi研究会

グランドプリンスホテル広島, 2011年8月27日 (土)

(広島)

(生活衛生化学部)

- 高橋淳子^{*1}, 竹熊美貴子^{*2}, 香川(田中)聡子, 古川容子, 泉山信司^{*3}, 倉文明^{*4}, 神野透人
^{*1}桐生大・短期大学部, ^{*2}埼玉県衛生研・生体影響, ^{*3}国立感染研・寄生動物部, ^{*4}国立感染研・細菌第一部
レジオネラ属菌対策における消毒副生成物に関する暴露評価
 日本防菌防黴学会第38回年次大会(2011.8)(大阪府豊中市)
- Uchino, T. Takezawa, T*, Ikarashi, Y. Nishimura, T.
 *National Institute of Agrobiological Sciences
Development of for skin sensitization test using a three-dimensional human skin model consisting of dendritic cells, keratinocytes and fibroblasts on collagen vitrigel membrane for applying to cosmetic products (樹状細胞、皮膚角化細胞、線維芽細胞を含み、コラーゲンビトリゲル薄膜を培養担体とする3次元培養ヒト皮膚モデルを用いる皮膚感作性試験法とその化粧品への応用)
 NPO Canadian Council on Animal Care: Eighth World Congress on Alternatives and Animal Use in the Life Sciences (2011.8) (Montoreal, QC, Canada)
- Nishimura, T., Kubota, R., Tahara, M., Shimizu, K., Obama, T., Hirose, A., Sugimoto, N
Bio-distribution of C60 fullurene injected into the rat tail vein (ラット尾静脈に注入したC60フラレーンの体内分布)
 The Center for High-rate Nanomanufacturing at the University of Massachusetts Lowell : 5th International Symposium on Nanotechnology (2011.8)(Boston, MA, USA)
- Nishimura, T., Shimizu, K., Kubota, R., Kobayashi, N., Tahara, M., Obama, T., Hirose, A., Sugimoto, N
Generation and toxicities of halogenated benzo[a]pyrene (ハロゲン化ベンゾ[a]ピレンの生成と毒性)
 NPO Dioxin 20XX : The 31st International Symposium on Halogenated Persistent Organic Pollutants (2011.8) (Brussels, Belgium)
- Kawakami, T., Isama, K., Jinno, H., Matsuoka, A., Nishimura, T.
Transfer of phthalic acid diesters from model PVC sheet to skin surface (モデルPVCシートから皮膚表面へのフタル酸エステル類の移行)
 NPO Dioxin 20XX : The 31st International Symposium on Halogenated Persistent Organic Pollutants (2011.8) (Brussels, Belgium)
- Kubota, R., Tahara, M., Shimizu, K., Kobayashi, N., Sugimoto, N., Hirose, A., Nishimura, T.
Time-dependent biodistribution of C60 in rat after tail-vein administration (尾静脈投与によるラットにおけるC60の体内分布の経時変動)
 47th Congress of the European Societies of Toxicology(2011.8) (Paris, France)

(食品添加物部)

- 建部千絵, 鐘熙寧, 大槻崇, 久保田浩樹, 佐藤恭子, 穂山 浩
アルギン酸類の定量に関する研究
 日本キチン・キトサン学会 : 第25回キチン・キトサンシン

- ポジウム (2011.8)(奈良)
- 穂山 浩
添加物の規格 I
 社団法人日本食品衛生協会：平成 23 年度 食品衛生管理者
 登録講習会
 大阪薬業年金会館(大阪)，2011.8
 - 佐藤恭子
添加物の規格 II
 社団法人日本食品衛生協会：平成 23 年度 食品衛生管理者
 登録講習会
 大阪薬業年金会館(大阪)，2011.8
 - 久保田浩樹
分析法概論 I
 社団法人日本食品衛生協会：平成 23 年度 食品衛生管理者
 登録講習会
 大阪薬業年金会館(大阪)，2011.8
 - 山崎 壮
添加物の規格 III
 社団法人日本食品衛生協会：平成 23 年度 食品衛生管理者
 登録講習会
 大阪薬業年金会館(大阪)，2011.8
 - 秋山卓美
分析法概論 II
 社団法人日本食品衛生協会：平成 23 年度 食品衛生管理者
 登録講習会
 大阪薬業年金会館(大阪)，2011.8
 - 六鹿元雄
添加物の規格 IV
 社団法人日本食品衛生協会：平成 23 年度 食品衛生管理者
 登録講習会
 大阪薬業年金会館(大阪)，2011.8
- (食品衛生管理部)
- Momose, Y., Asakura, H., Saito, E.^{*1}, Sawada, M.^{*2}, Yamamoto, A.^{*1}, Hasegawa, A.^{*3}, Iwahori, J.^{*4}, Tsutsui, T.^{*5}, Osaka, K.^{*6}, Matsushita, T.^{*3}, Kakinuma, M.^{*3}, Motoyama, K.^{*2}, Hayama, Y.^{*5}, Kitamoto, H.^{*1}, Kasuga, F.
^{*1}Hyogo Prefectural Institute of Public Health and Consumer Sciences, ^{*2}Hitachi East Japan Solutions, ^{*3}Mitsubishi Research Institute, ^{*4}Kochi Medical School, ^{*5}National Institute of Animal Health, ^{*6}Tohoku University
Prevalence of Shiga toxin-producing *Escherichia coli* in internal organs of cattle distributed for food in Japan. (日本で食用に流通する牛内臓肉の志賀毒素産生性大腸菌汚染率)
 Annual Meeting of International Association for Food Protection (2011.8) (Milwaukee, WI, USA)
 - Igimi, S., Ishiwa, A.^{*1}, Monden, S., Okada, Y., Asakura, H., Asai, T.^{*2}, Kai, A.^{*3}, Yokoyama, K.^{*3}, Taguchi, M.^{*4}, Ishii, Y.^{*5}, Kuroda, M.^{*1}, Watanabe, H.^{*1}
^{*1}National Institute of Infectious Diseases, ^{*2}National Veterinary Assay Laboratory, ^{*3}Tokyo Metropolitan Institute of Public Health, ^{*4}Osaka Prefectural Institute of Public Health, ^{*5}Toho University, Japan
Antimicrobial susceptibility profiles and PFGE typing of

Campylobacter jejuni isolated from various sources in Japan
 (日本における多様な由来のカンピロバクター・ジェジュニ分離株の抗生物質感受性と PFGE 型別)
 The 16th International Workshop on *Campylobacter Helicobacter* and Related Organisms Conference
 (2011.8)(Vancouver, BC, Canada)

(衛生微生物部)

- 小沼ルミ^{*1}, 渡辺麻衣子, 小西良子, 高鳥浩介^{*2}, 瓦田研介, 鎌田洋一

^{*1}東京産技研・開発

^{*2}NPO 法人カビ相談センター

Aspergillus fumigatus のアレルゲン遺伝子塩基配列の多様性

日本防菌防黴学会第 38 回年次大会 大阪府豊中市, 8 月, 2011

- 小西良子
アフラトキシン通知の改正について
 一般社団法人 食品衛生登録検査機関協会 平成 23 年度特殊技術研修会
 神奈川県相模原市, 8 月, 2011

(有機化学部)

- Demizu, Y., Sato, Y., Horie, K. *, Takagi, K. *, Kakuda, S. *, Takimoto-Kamimura, M. *, Okuda, H., Kurihara, M.
 *帝人ファーマ (株) ・生物医学総合研究所
Design of non-secosteroidal VDR ligands and binding mode to VDR-LBD (ノンセコステロイド VDR リガンドの創製および VDR-LBD との結合様式解析)
 Hungarian Chemical Society: 4th European Conference on Chemistry for Life Sciences, (2011.8)(Budapest, Hungary)
- Imai, K. ^{*1}, Nakanishi, I. ^{*2,3}, Nakanishi, S., Takagaki, R., Matsumoto, K. ^{*2}, Anzai, K. ^{*2,4}, Ozawa, T. ^{*2,5}, Okuda, H., Nakamura, A. ^{*1}, Fukuhara, K.
^{*1} 芝浦工大院工, ^{*2} 放医研, ^{*3} 阪大院工, ^{*4} 日本薬大, ^{*5} 横浜薬大
Synthesis of catechin derivative with basic amino acid as a promising antioxidant (抗酸化活性の増強を目的とした塩基性アミノ酸を導入したカテキン誘導体の合成)
 Hungarian Chemical Society: 4th European Conference on Chemistry for Life Sciences, (2011.8)(Budapest, Hungary)
- Ohno, A., Kawanishi, T., Okuda, H., Fukuhara, K.
New approach for quality evaluation for insulins derived from different species using ¹H NMR coupled with multivariate analysis (新たな品質評価の開発を目的とした ¹H NMR と多変量解析を利用したインスリン種差解析法)
 242th American Chemical Society National Meeting & Exposition, (2011.8)(Denver, CO, USA)
- Fukuhara, K., Ohno, A., Takuya, A., Okuda, H.
Novel Trolox-C-terminal motifs of Aβ42 as neuroprotective agents for the treatment of Alzheimer's diseases (アルツハイマーにおける神経細胞毒性の予防に有効な β アミロイドの C-末端モチーフを有するトロロックス誘導体)
 242th American Chemical Society National Meeting & Exposition, (2011.8)(Denver, CO, USA)

(安全情報部)

- Kubota, K., Amanuma, H., Kasuga, F., Iwasaki, E. ^{*1}, Inagaki,

S.^{*2}, Sakurai, Y.^{*3}, Komatsu, M.^{*3}, Kanno, F.^{*4}, Oguro, M.^{*4}, Oota, H.^{*4}, Yasaki, S.^{*4}, Toyofuku, H.^{*5}, Angulo, F.J.^{*6}, Scallan, E.^{*7}, Morikawa, K.

^{*1}健康予防政策機構, ^{*2}厚生労働省東北厚生局, ^{*3}宮城県医師会健康センター, ^{*4}仙台市衛生研究所, ^{*5}国立保健医療科学院, ^{*6}Centers for Disease Control and Prevention. U.S., ^{*7}Colorado School of Public Health. U.S.

Estimating the Burden of Foodborne Illness in Japan, Using Web-based Survey Data for Extrapolating Estimates in Miyagi Prefecture to Whole of Japan (日本における食品由来感染症被害実態推定: Web 調査結果を利用した宮城県推定値の日本全国への外挿)

International Association for Food Protection, 100th Annual Meeting (2011.8) (Milwaukee, WI, USA)

(医薬安全科学部)

- 佐井君江, 斎藤嘉朗, 澤田純^{*1}, 西條長宏^{*2}, 南 博信^{*3}
^{*1}医薬品医療機器総合機構, ^{*2}近畿大学医学部, ^{*3}神戸大学医学部

Progress in pharmacogenetic studies on irinotecan and its clinical application

第9回日本臨床腫瘍学会学術集会(2011.7) (横浜)

- 鹿庭なほ子
予期せぬ重篤な副作用への対策: 重症薬疹を例として
情報計算法学生物学会 第319回 CBI 学会研究講演会
(2011.8) (東京都文京区)

(毒性部)

- 種村健太郎、五十嵐勝秀、佐藤英明*、菅野 純
* 東北大学大学院農学研究科
発生・発達期のビスフェノール A 暴露による遅発中枢影響解析
日本内分泌学会: 第29回内分泌代謝学サマーセミナー
(2011.7) (仙台)
- 菅野 純、五十嵐勝秀、相崎健一、北嶋 聡、種村健太郎
ヒト型リガンド結合ドメインノックイン PXR マウスの遺伝子発現応答特性
日本内分泌学会: 第29回内分泌代謝学サマーセミナー
(2011.7) (仙台)
- 菅野 純
Percellome 解析: 時間軸と用量軸の融合と絶対値による解析精度の向上
第38回日本トキシコロジー学会学術年会(2011.7) (横浜)
- 菅野 純
イントロダクション コリンエステラーゼ阻害物質による遅発性の中枢神経毒性—サリンの臨床から学ぶ動物モデルの機構解析—
シンポジウム: コリンエステラーゼ阻害物質による遅発性の中枢神経毒性—サリンの臨床から学ぶ動物モデルの機構解析—第38回日本トキシコロジー学会学術年会(2011.7) (横浜)
- 種村健太郎、五十嵐勝秀、相崎健一、北嶋 聡、菅野 純
中枢神経系の発生-発達期における神経活動かく乱による遅発性中枢影響解析—幼若期雄マウスへのアセフェートによる成熟後の脳高次機能障害について—
第38回日本トキシコロジー学会学術年会(2011.7) (横浜)

- 北嶋 聡、小川幸男、長野嘉介*、相崎健一、五十嵐勝秀、高橋祐次、安彦行人、山本雅也、菅野 純
*中央労働災害防止協会日本バイオアッセイ研究センター
Percellome 法によるシックハウス症候群レベルの極低濃度暴露下での吸入トキシコゲノミクス
第 38 回日本トキシコロジー学会学術年会(2011.7) (横浜)
 - 五十嵐勝秀、北嶋 聡、相崎健一、菅野 純
ヒト型 PXR 生理的発現マウス系の全身臓器トランスクリプトーム解析
第 38 回日本トキシコロジー学会学術年会(2011.7) (横浜)
 - 相崎健一、五十嵐勝秀、種村健太郎、安彦行人、高橋祐次、高木篤也、北嶋 聡、菅野 純
Percellome プロジェクト・オンライン解析システム
シンポジウム 5 毒性オミクス 第 38 回日本トキシコロジー学会学術年会(2011.7) (横浜)
 - 五十嵐 勝秀
Epigenetics と MicroRNA の相互制御
第 38 回日本トキシコロジー学会学術年会(2011.7) (横浜)
 - Kanno, J., Takagi, A., Nishimura, T., Hirose, A.
Nanomaterial Toxicology - Importance of Chronic Toxicity Assessment (ナノマテリアル毒性学—慢性毒性影響評価—)
The Center for High-rate Nanomanufacturing at the University of Massachusetts Lowell: Attendance at 5th International Conference on Nanotechnology – Occupational and Environmental Health (第 5 回ナノテクノロジーの労働および環境健康影響に関する国際会議) (2011.8) (米国・ボストン, MA)
 - Kanno, J., Aisaki, K., Igarashi, K., Kitajima, S.
Percellome Toxicogenomics Project and its application to the studies on anticancer agents. (Percellome トキシコゲノミクスの抗がん剤研究への応用)
47th Congress of the European Societies of Toxicology 第 47 回欧州トキシコロジー学会 (2011.8) (フランス・パリ)
- (薬理部)
- 藤森康希^{*1}、高木淳平^{*1}、佐藤薫、鈴木岳之^{*1}
^{*1}慶應大・薬・薬学教育研究センター
炎症時のグリア間コミュニケーションがグルタミン酸トランスporter機能変化をもたらす
日本薬学会薬理系薬学部会他主催：次世代を担う創薬・医療薬理シンポジウム 2011 (2011.8) (東京)
 - Sato, K., Shigemoto-Mogami, Y., Ohno, Y., Sekino, Y.
Microglia instruct neurogenesis and oligodendrogenesis in the early postnatal SVZ (ミクログリアは生後初期脳室下帯の神経新生、オリゴデンドロサイト新生を促進する)
ISN-ESN-2011 (International Society of Neurochemistry, European Society of Neurochemistry) 23rd Biennial Meeting (2011.8-9), (Athens, Greece; アテネ市, ギリシャ国)
 - Sato, K., Shigemoto-Mogami, Y., Ohno, Y., Sekino, Y.
The role of activated microglia accumulated in the early postnatal SVZ (生後初期脳室下帯に集積しているミクログリアの役割)
ISN(International Society of Neurochemistry) Satellite meeting, Glial cells in (patho)physiology (2011.8), (Ljubljana, Slovenia; リュブリャナ市, スロベニア国)

- Kanda, Y.
Sphingosine-1-phosphate mediates proliferation of breast cancer stem cells (スフィンゴ1リン酸による乳癌幹細胞の増殖)
FASEB(Federation of American Societies for Experimental Biology), Summer Research Conference (2011.8), (Lucca, Italy ; ルッカ, イタリア)
- Kojima, H.
The International Cooperation on Alternative Test Methods (ICATM), JaCVAM (代替法試験協力国際会議, 日本動物実験代替法評価センター)
NPO Canadian Council on Animal Care: 8th World Congress on Alternatives and Animal Use in the Life Sciences (2011. 8) (Montreal, QC, Canada)
- Uno, Y.^{*1}, Kojima, H., Hayashi, M.^{*2}
^{*1}Mitsubishi Tanabe Pharma, ^{*2}Biosafety Research Center Foods, Drugs and Pesticides
In vivo Comet assay: update on the ongoing international validation study coordinated by JaCVAM (*in vivo* コメットアッセイ: 日本動物実験代替法評価センターによる国際バリデーション試験の動向)
NPO Canadian Council on Animal Care: 8th World Congress on Alternatives and Animal Use in the Life Sciences (2011. 8) (Montreal, QC, Canada)
- Kojima, H., Yamakage, K.^{*1}, Oba, S.^{*2}, Tsug, H.^{*2}, Aoki, M.^{*3}
^{*1}Hatano Research Institute, Food and Drug Safety Center, ^{*2}Pharmacopiea and CMC Committee, The Pharmaceutical Manufacturers' Association of Tokyo, ^{*3}Pharmaceutical Technology Committee, Osaka Pharmaceutical Manufacturers Association
Preliminary study of the revision of Japanese Pharmacopoeia test for rubber closure for aqueous infusions (輸液用ゴム栓についての日本薬局方試験の改変のための予備試験)
NPO Canadian Council on Animal Care: 8th World Congress on Alternatives and Animal Use in the Life Sciences (2011. 8) (Montreal, QC, Canada)
- Ono, A., Takeyoshi, M.^{*1}, Bremer, S.^{*2}, Jacobs, M.^{*3}, Laws, S.^{*4}, Sozu, T.^{*5}, Kojima, H.
^{*1}Chemicals Evaluation and Research Institute, ^{*2}Institute of Health and Consumer Protection, European Centre for the Validation of Alternative Methods, ^{*3}European Food Safety Authority, Assessment Methodology, ^{*4}U.S. Environmental Protection Agency, National Health and Environmental Effects Research Laboratory, ^{*5} Kyoto University Graduate School of Medicine
Results of the validation study of the stably-transfected estrogen receptor alpha transcriptional activation antagonist assay using the HeLa9903 cell line (HeLa9903 株細胞を用いた安定化導入されたエストロゲン α 受容体の転写活性化作用薬アッセイによる評価試験の結果)
NPO Canadian Council on Animal Care: 8th World Congress on Alternatives and Animal Use in the Life Sciences (2011. 8) (Montreal, QC, Canada)

- Hayashi, K.^{*1}, Hayashi, T.^{*2}, Sakaguchi, M.^{*3}, Watanabe, S.^{*4}, Kojima, H.
^{*1}Kao Corporation, ^{*2}Kanebo Cosmetics Inc., ^{*3}POLA Chemical Industries, INC., ^{*4}LION Corporation
Inter-laboratory phase II validation study of *in vitro* eye irritation test; Short Time Exposure (STE) test (インビトロ眼刺激性試験の試験機関間第2相評価；短期曝露試験について)
 NPO Canadian Council on Animal Care: 8th World Congress on Alternatives and Animal Use in the Life Sciences (2011. 8) (Montreal, QC, Canada)
- Nakamura, M.^{*1}, Suzuki, T.^{*2}, Shinoda, S.^{*3}, Kato, M.^{*4}, Kojima, H.
^{*1}KOBAYASHI Pharmaceutical Co., Ltd, ^{*2}Fancl Corporation, ^{*3}Drug Safety Testing Center Co., Ltd., ^{*4}Japan Tissue Engineering Co., Ltd
Additional validation of alternative skin irritation test method using LabCyte EPI-MODEL24 of cultured skin (研究室樹立細胞 EPI モデル 24 を用いた皮膚刺激性試験代替法の追加評価)
 NPO Canadian Council on Animal Care: 8th World Congress on Alternatives and Animal Use in the Life Sciences (2011. 8) (Montreal, QC, Canada)
- McFarland, R.^{*1}, Kulpa-Eddy, J.^{*2}, Isbrucker, R.^{*3}, Halder, M.^{*4}, Kojima, H., Johnson, N.^{*5}, Jones, B.^{*5}, Allen, D.^{*5}, Casey, W.^{*6}, Stokes, W.^{*6}
^{*1}U.S. FDA, ^{*2}USDA, ^{*3}Health Canada, ^{*4}ECVAM, ^{*5}ILS, Inc, ^{*6}NICEATM/NIEHS/NIH/HHS
International workshop on alternative methods to reduce, refine, and replace the use of animals in human vaccine potency and safety testing (ヒトワクチンの効力および安全性試験における動物利用に関する動物数削減、試験法の洗練化、他の試験系への転換を目的とする代替法についての国際的ワークショップ)
 NPO Canadian Council on Animal Care: 8th World Congress on Alternatives and Animal Use in the Life Sciences (2011. 8) (Montreal, QC, Canada)
- Kulpa-Eddy, J.^{*1}, McFarland, R.^{*2}, Isbrucker, R.^{*3}, Halder, M.^{*4}, Kojima, H., Johnson, N.^{*5}, Jones, B.^{*5}, Allen, D.^{*5}, Casey, W.^{*6}, Stokes, W.^{*6}
^{*1}USDA, ^{*2}U.S. FDA, ^{*3}Health Canada, ^{*4}ECVAM, ^{*5}ILS, Inc, ^{*6}NICEATM/NIEHS/NIH/HHS
International workshop on alternative methods to reduce, refine, and replace the use of animals in veterinary vaccine potency and safety testing (獣医学用ワクチンの効力および安全性試験における動物利用に関する動物数削減、試験法の洗練化、他の試験系への転換を目的とする代替法についての国際的ワークショップ)
 NPO Canadian Council on Animal Care: 8th World Congress on Alternatives and Animal Use in the Life Sciences (2011. 8) (Montreal, QC, Canada)
- Stephens, M.^{*1}, Kojima, H., Patlewicz-Tier, G.^{*2}, Spielmann, H.^{*3}, Telley, L.^{*1}
^{*1}The Human Society of the United State, ^{*2}Dupont Haskell

Global Centers for Health and Environmental Sciences, *³Free University Berlin

AltTox.org: communication platform for 21st century toxicology (代替法トキシコロジー協会: 21世紀トキシコロジーに向けての情報交換プラットフォーム)

NPO Canadian Council on Animal Care: 8th World Congress on Alternatives and Animal Use in the Life Sciences (2011. 8) (Montreal, Canada)

(病理部)

- 金 美蘭、木島綾希、石井雄二、高須伸二、松下幸平、西川秋佳、梅村隆志、小川久美子

Safrole の肝発がん機序に関する研究

第26回発がん病理研究会 (2011.8) (札幌)

- Ishii, Y., Hibi, D., Jin, M., Kodama, Y., Ogawa, K., Nishikawa, A., Umemura, T.

In vivo mutagenicity and DNA damage in the lungs, livers, and kidneys of *gpt* delta mice treated with acrylamide (アクリルアミドを投与した *gpt* delta マウスの肺、肝臓及び腎臓における *in vivo* 変異原性と DNA 損傷)

47th Congress of the European Societies of Toxicology (2011. 8) (Paris, France)

- Cho, Y-M., Takami, S., Toyoda, T., Onami, S., Ogawa, K., Nishikawa, A.

Lack of modification of tumorigenesis in the central nervous system by early-life exposure to manganese

(マンガンへの若年期露出による中枢神経系における腫瘍発生の修飾作用の欠如)

47th Congress of the European Societies of Toxicology (2011. 8) (Paris, France)

(変異遺伝部)

- Nohmi, T., Yamamoto, A., Sakamoto, Y., Msumura, K., Honma, M.

Critical roles of mismatch repair proteins in modulation of genotoxicity of gamma-irradiation in human cells by pretreatments with *N*-methyl-*N'*-nitro-*N*-nitrosoguanidine at low doses (ヒト細胞を低用量の MNNG で前処理することによりガンマ線照射が誘発する遺伝毒性が変化することに対するミスマッチ修復タンパク質の重要な役割)

Polish Radiation Research Society : 14th International Congress of Radiation Research, 2011.8.28- 9.1, Warsaw, Poland

- Honma, M.

Genome mapping of damaged chromosome regions induced by ionizing irradiation using CGH-microarray analysis

(CGH マイクロアレイ解析を用いた放射線によって誘発される染色体傷害領域のマッピング)

Polish Radiation Research Society : 14th International Congress of Radiation Research, 2011.8.28- 9.1, Warsaw, Poland

(総合評価室)

- Hirose, A., Fujii, S. *, Furukawa, M. *, Nishimura, T., Hirata-Koizumi, M., Yamamoto, M., Usami, M., Ono, A., Umemura, T.

*化合物安全性研究所

A COMBINED REPEATED DOSE AND REPRODUCTIVE/DEVELOPMENTAL TOXICITY

SCREENING STUDY OF PERFLUOROOCCTADECANOIC ACID IN RATS (パーフルオロオクタデカン酸の反復投与毒性・生殖毒性併合試験)

NPO Dioxin 20XX : The 31th International Symposium on Halogenated Persistent Organic Pollutants (2011.8) (Belgium, Brussels)

- HIROSE, A., Ono, A., Hirata-Koizumi, M., Serizawa, H. *, Sunaga, M. **, Furukawa, M. **, Kamata, E., Nishimura, T. *ボゾリサーチセンター、**化合物安全性研究所

Repeated dose 28-day oral toxicity studies of single- and multi-walled carbon nanotubes in rats (単相及び多相カーボンナノチューブの28日間反復投与毒性試験)

The 47th EUROTOX2011 (The 47th Congress of the European Societies of Toxicology) (2011.8) (France, Paris)

- Ono, A., Takahashi, M., Kawamura, T., Kamata, E., Hirata-Koizumi, M., Hirose, A.

An evaluation of structure-based toxicity classification and TTC approach for assessing safety of existing industrial chemicals with JECDB. (既存化学物質安全性評価における構造ベースの毒性分類評価法とTTCアプローチのJECDBによる検証)

The 47th EUROTOX2011 (The 47th Congress of the European Societies of Toxicology) (2011.8) (France, Paris)

- Ono, A., Takeyoshi, M.¹, Bremer, S.², Jacobs, M.³, S.C.Laws.⁴, Sozu, T.⁵, Kojima, H.

¹ Chemicals Evaluation and Research Institute, ² European Centre for the Validation of Alternative Methods, ³ European Food Safety Authority, ⁴ U.S. Environmental Protection Agency, ⁵ Kyoto University School of Public Health

Results of the validation study of the stably-transfected estrogen receptor alpha transcriptional activation antagonist assay using the HeLa9903 cell line. (エストロゲンα受容体恒常的発現 HeLa9903 細胞を用いたアンタゴニスト試験法の検証研究の結果)

NPO Canadian Council on Animal Care: The 8th World Congress on Alternatives and Animal Use in the Life Sciences (2011.8) (Canada, QC, Montreal)

- 広瀬 明彦
リスクアセスメント・マネジメント, 環境毒性 (環境汚染物質), 放射性物質, 紫外線, ナノマテリアル
第13回日本トキシコロジー学会基礎教育講習会
東京大学農学部 2011年8月10日 東京都文京区

5. レギュラトリーサイエンス関連国際会議報告

(薬理部)

- 小島 肇
The International Cooperation on Alternative Test Methods (ICATM) coordination meeting (代替法試験協力国際会議調整会議)
モントリオール (カナダ) 2011年8月25日
各国の動物実験代替法バリデーションおよび評価, 行政的な受入れに関する進捗報告がなされた。

(変異遺伝部)

- 本間 正充、阿曾 幸男
ICH-M7 Expert Working Group Meeting (ICH-M7 (DNA 反応性不純物) に関する専門家会議)
シンシナティ (米国), 2011年6月12日～16日
潜在的発がんリスクを低減化するための医薬品中 DNA 反応性 (変異原性) 不純物の評価及び管理に関する国際ガイドラインの策定作業を行った

6. 新聞・テレビ等

(衛生微生物部)

- 小西良子
ひらめからの新種のクドア属
薬事日報 8月5日(夏期随想)
ヒラメからクドア属の新種, クドア・セプテンpunkタタを国立医薬品食品衛生研究所衛生微生物部の小西良子部長を班長とする厚労省研究班が発見した. この寄生虫は, 一過性の食中毒の原因とされ, 厚労省や農水省はその対策に乗り出している. 研究班では今後, 発症メカニズムの解明等に取り組み, 予防策などを検討していく.
- 鎌田洋一, 渡辺麻衣子
NHK宮城放送局 8月19日 午後6時半すぎ
NHK 8月23日 午前7時半頃
ニュース番組「てれまさむね」(宮城県内)
ニュース番組「おはよう日本」(全国)
衛生微生物部では宮城県内避難所のカビ汚染調査を行っている. 放送では, 避難施設内に発生しやすいカビの種類, カビの危険性 (病原性) について説明した. また, カビへの対処法として, 室内の換気通気, 湿度の低下, カビ汚染物は積極的に捨てる, 徹底的な清掃と適切な消毒剤処理が有効であることを伝えた.